

# 営農継続県・市町村連絡会議の設置について

## 背景

- ・更なる企業進出や道路建設等が見込まれる中、農地の売買が加速化し、貸借契約の解除等が発生していることから、耕作可能な農地の確保に向けて、貸借可能な農地の情報収集、マッチング作業を進めている。
- ・一方、マッチングにあたっては貸借可能な農地が小規模かつ分散している等の課題がある。

## 設置主旨

- ・営農継続の支障となる新たな課題を把握し、マッチング以外の手法による対応等の必要性について検討する。
- ・検討にあたり、地元からの意見や情報を収集する必要があるため、市町村との定期的な意見交換等を行う場として本会を設置する。

## 実施体制

### 営農継続県・市町村連絡会議

- 座長：県農林水産部長
- 構成員
  - ・地元6市町村 課長級  
(菊池市、合志市、大津町、菊陽町、益城町、西原村)  
※必要に応じて、随時メンバーを追加。
  - ・県 課長級  
(農地・担い手支援課、農林水産政策課、畜産課、農村計画課、農地整備課、むらづくり課、技術管理課)
- オブザーバー  
関係広域本部
- 〈取組み〉
  - 県の取組状況や、市町村が把握する農家の現状、要望等について共有
  - 新たな対応等に関する提言
  - 県と市町村の協力体制の構築

意見・情報  
・提言

### 農林水産部PT ～営農継続支援チーム～

- チームリーダー：生産経営局長
- 構成員  
県農林水産部内関係9課（課長）、農業公社、農業会議

必要に応じて要望

国